

群馬県歯科医師会歯科医療安全研修会

日時:平成30年3月24日(土)19:00~

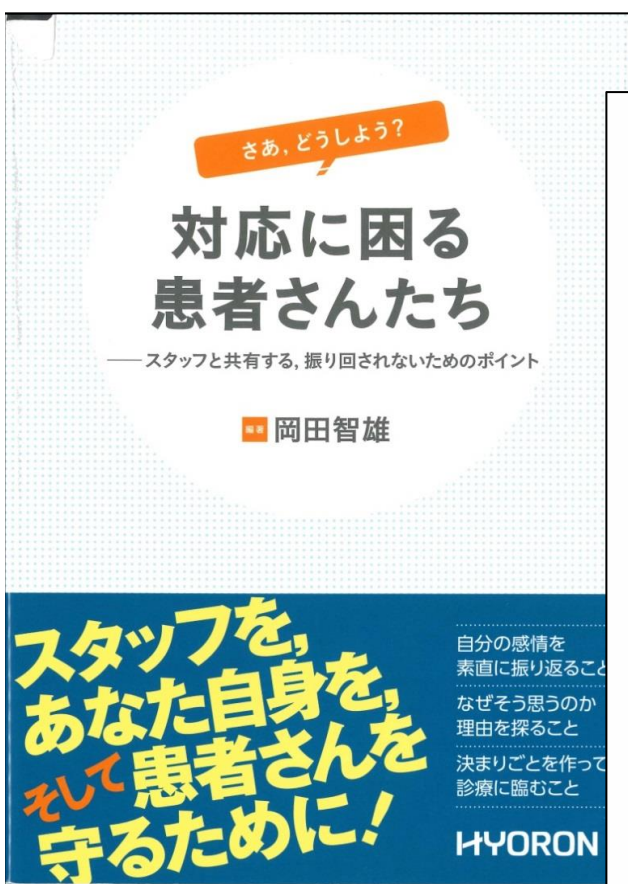
会場:群馬県歯科医師会館 5階ホール

講師:日本歯科大学附属病院 総合診療科長

心療歯科診療センター長 教授 岡田 智雄 :

演題:さあ、どうしよう? 対応に困る患者さんたち(仮)

日常の臨床の場において歯科恐怖症や不定愁訴など様々
不安要素を抱えた患者さんに対応するために



はじめに

“さあ、どうしよう? 対応に困る患者さんたち”と題して、『日本歯科評論』誌に2015年1月号から2016年12月号まで、2年間の連載を行いました。幸い読者からは好評で、「ときどきこういう患者さん、おられます。そうかこうすればいいのか、とても参考になりました」「なるほどー!」という記事だった。この手の訴えは意外に多い。「起きてほしくありませんが、もしもの時にはその対応を心がけたいと感じました」等の感想をいただきました。「対応に困る患者」に遭遇し、困った経験がある歯科医は多いようです。そこで今回編集部からのお薦めもあり、一冊の本としてまとめることにしました。書籍化にあたり、全体を4つのパートに分け、各項の配列を読みやすい順に並べ変えましたが、各項を単独でお読みいただいてもわかりやすくなっています。

副題の「スタッフと共有する」は、重要なポイントです。実は「対応に困る患者」に遭遇した歯科医にとって最もつらいのは、周囲のスタッフに状況を理解してもらえず、冷たい目で見られ、孤立してしまうことなのです。困った患者との関係を変えるヒントを、本書に見つけたならば、さらにその情報を院内スタッフ全員で共有してください。“これだけ”で困った患者への対応が好転していく場合があります。

本書は日本歯科大学附属病院心療歯科診療センターの所属医員が分担執筆しました。当センターは日本歯科大学生命歯学部佐藤田鶴子名誉教授により、平成10年4月に日本歯科大学附属病院内に、全国に先駆けて創設されました。当センター宛に多くの患者紹介をいただき、そこで蓄積された患者対応のコツが本書に詰まっています。本書の上梓は、患者対応に真摯に取り組んで来た各センター員の努力の成果といえます。執筆を担当した各センター員はじめ、歴代のセンター員各位に深く感謝いたします。

本書が「対応に困る患者」による先生方やスタッフのストレス軽減に、少しでもお役に立つことを願っています。

2017年3月
岡田智雄

* 申込は3/16(土)までにFAXまたはメールにて
群馬県歯科衛生士会までお申し込み下さい。

FAX : 027-253-3368

メール: gdha.1967@dan.wind.ne.jp

件名「3/24 県歯研修会」

本文「会員番号・氏名」

研修会申込書

会員番号		氏名	
------	--	----	--